

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム リラ作成日: 平成 24 年 12 月 20 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	家族と職員が、話し合う機会が少ないので、面会時や支払い時等に、家族と話し合う習慣を作り、信頼関係を築き、なんでも話し合う関係で意見や要望、苦情等を聴き取り、出された意見等を反映させていく。	利用者の暮らし振りや、健康状態を記録したホーム便りを定期的に発行し、家族に理解してもらい、行事等への参加をお願いし、家族同士で話し合える家族交流会を設立し、悩みや心配事を話し合う場を作り、家族間の信頼と、ホームとの連携を目指す。	12ヶ月
2	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	利用者の重度化が進む中で、介護度の重い利用者の支援に追われることなく、元気の良い利用者の思いや意向を、実現出来るような介護支援体制を築いていく。	ターミナルケアの指針を作成し、利用者や家族に理解してもらい、ホームで出来ること、出来ない支援を明示し、関係者で終末期の方針を共有し、定期的に確認しながら、重度化の支援をしていく。	12ヶ月
3	45	食事を楽しむことのできる支援	厨房で作る食事は冷凍食品が多いので、新鮮な食材の買い出しや、利用者の希望を聴きながら、メニューを決める等して、食事がより美味しく食べられるように工夫していく。	同じテーブルで利用者と職員が、同じ料理を食べながら、料理の中味が話題になるなど、会話の中に笑いのある楽しい食事時間にしていく。また、利用者の残存能力に合わせて、調理や片付けを一緒に手伝ってもらう。	6ヶ月
4	11	運営に関する利用者、家族等意見の反映	定期的な会議の実施だけでなく、職員間の日常会話の中からも、意見や提案を取り入れ、職員の考えをできるだけ、尊重しながら、運営図を作り上げていく。	ユニットごとの会議に管理者も参加しながら、できるだけ、全ての職員が話しやすい雰囲気を作っていく。職員からの意見、要望について、できるだけ取り入れることを前提に、働きやすい職場にしていく。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。